



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 上組

上場取引所 東

コード番号 9364 URL <https://www.kamigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 深井 義博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長 (氏名) 岸野 保宏

TEL 078-271-5119

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	139,558	8.2	16,242	13.3	18,327	18.9	12,367	13.3
2022年3月期第2四半期	128,968	12.1	14,342	28.5	15,411	28.7	10,919	33.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 11,333百万円 (11.3%) 2022年3月期第2四半期 12,782百万円 (32.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	109.73	
2022年3月期第2四半期	94.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	437,104	363,018	82.6
2022年3月期	434,734	367,917	84.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 361,232百万円 2022年3月期 366,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		27.00		46.00	73.00
2023年3月期		40.00			
2023年3月期(予想)				43.00	83.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	272,800	4.2	30,500	6.9	33,600	8.8	23,000	10.2	206.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	120,726,837 株	2022年3月期	127,496,837 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	10,172,262 株	2022年3月期	12,828,055 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	112,705,660 株	2022年3月期2Q	116,158,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化により持ち直しの動きがみられるものの、ウクライナ情勢等によるエネルギーや原材料価格の上昇、また、急激な円安に伴う消費者物価の上昇など、景気の先行きは不透明な状況となっております。

物流業界におきましても、輸出入貨物並びに国内貨物の取扱いがおおむね横ばいに推移する中、燃料費が高騰するなど経営環境は厳しい状態が継続しております。

このような状況下にあつて当社グループは、中期経営計画の目標達成に向け、輸入青果物や穀物、食料等の定温貨物の取扱いの需要拡大を見込み東京港に多目的物流センターを新たに開設し、新規事業としてはバイオマス発電所向け燃料輸送の取扱いを新たに開始するなど、事業基盤の強化を図り、物流インフラを支える企業としてサービスの提供を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、港湾運送事業の伸長などにより、前年同期に比べて8.2%増収の1,395億58百万円となりました。利益面におきましても、前年同期に比べて営業利益は13.3%増益の162億42百万円、経常利益は18.9%増益の183億27百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は13.3%増益の123億67百万円となりました。

セグメント別の経営成績の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント	営業収益			
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
物流事業	114,762	125,099	10,336	9.0%
港湾運送	59,353	66,799	7,445	12.5%
倉庫	18,031	18,820	789	4.4%
国内運送	15,952	15,205	△747	△4.7%
工場荷役請負	12,661	14,118	1,457	11.5%
国際運送	8,122	9,478	1,356	16.7%
その他	575	618	42	7.4%
セグメント間取引	65	57	△8	△12.4%
その他事業	15,241	15,632	391	2.6%
重量・建設	5,691	4,701	△989	△17.4%
その他	8,580	9,815	1,234	14.4%
セグメント間取引	969	1,116	146	15.1%
セグメント間取引消去額	△1,035	△1,173	△138	—
合 計	128,968	139,558	10,589	8.2%

[物流事業]

港湾運送における自動車関連貨物の取扱い及び工場荷役請負における構内での運搬作業が増加し、国際運送につきましても、発電設備等のプロジェクト貨物の取扱いが好調に推移しております。

この結果、物流事業の営業収益は前年同期に比べて9.0%増収の1,250億99百万円、セグメント利益は17.5%増益の144億56百万円となりました。

[その他事業]

重量・建設におきましては、重量貨物の運搬据付作業が減少となりましたが、その他におきまして燃料及び鋼材の物品販売が増加となりました。

この結果、その他事業の営業収益は前年同期に比べて2.6%増収の156億32百万円となり、セグメント利益は12.8%減益の17億75百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、「投資有価証券」が減少したものの、「現金及び預金」や「受取手形、営業未収入金及び契約資産」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて23億69百万円増加の4,371億4百万円となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、「支払手形及び営業未払金」が減少したものの、新たに長期借入を行ったことなどにより、前連結会計年度末に比べて72億69百万円増加の740億86百万円となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益により増加したものの、配当や自己株式の取得で減少となった他、「その他有価証券評価差額金」が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて48億99百万円減少の3,630億18百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、82.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の結果を受け、次のとおり修正しております。

2023年3月期通期連結業績予想値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 270,000	百万円 29,500	百万円 32,000	百万円 22,000	円 銭 194.66
今回修正予想（B）	272,800	30,500	33,600	23,000	206.04
増減額（B－A）	2,800	1,000	1,600	1,000	－
増減率（％）	1.0	3.4	5.0	4.5	－
（ご参考） 前期実績（2022年3月期）	261,681	28,524	30,875	20,861	180.14

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,897	48,625
受取手形、営業未収入金及び契約資産	47,075	48,445
電子記録債権	748	898
有価証券	10,500	10,600
棚卸資産	764	794
その他	6,975	6,431
貸倒引当金	△56	△58
流動資産合計	111,904	115,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	104,779	105,034
土地	100,265	100,229
その他(純額)	27,040	26,306
有形固定資産合計	232,086	231,570
無形固定資産		
投資その他の資産	6,649	6,638
投資有価証券	75,101	72,794
その他	9,309	10,681
貸倒引当金	△316	△317
投資その他の資産合計	84,094	83,158
固定資産合計	322,829	321,367
資産合計	434,734	437,104
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	27,107	25,247
未払法人税等	5,817	5,837
賞与引当金	177	188
その他	13,528	12,348
流動負債合計	46,631	43,622
固定負債		
長期借入金	—	10,000
役員退職慰労引当金	66	69
船舶特別修繕引当金	20	23
退職給付に係る負債	18,324	18,708
関係会社事業損失引当金	267	267
その他	1,507	1,394
固定負債合計	20,185	30,463
負債合計	66,816	74,086

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,642	31,642
資本剰余金	26,854	26,854
利益剰余金	321,928	315,728
自己株式	△25,034	△22,699
株主資本合計	355,390	351,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,708	9,056
為替換算調整勘定	336	929
退職給付に係る調整累計額	△294	△279
その他の包括利益累計額合計	10,750	9,706
非支配株主持分	1,776	1,785
純資産合計	367,917	363,018
負債純資産合計	434,734	437,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益	128,968	139,558
営業原価	104,778	113,198
営業総利益	24,190	26,360
販売費及び一般管理費	9,847	10,117
営業利益	14,342	16,242
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	561	1,109
為替差益	4	199
持分法による投資利益	287	617
その他	216	193
営業外収益合計	1,083	2,133
営業外費用		
支払利息	—	6
その他	14	42
営業外費用合計	14	48
経常利益	15,411	18,327
特別利益		
固定資産売却益	228	24
投資有価証券売却益	627	6
特別利益合計	856	30
特別損失		
固定資産除売却損	499	363
関係会社株式評価損	—	224
特別損失合計	499	587
税金等調整前四半期純利益	15,767	17,769
法人税、住民税及び事業税	5,078	5,555
法人税等調整額	△78	△166
法人税等合計	5,000	5,389
四半期純利益	10,767	12,380
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△152	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,919	12,367

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	10,767	12,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,669	△1,486
為替換算調整勘定	128	401
退職給付に係る調整額	79	69
持分法適用会社に対する持分相当額	135	△29
その他の包括利益合計	2,014	△1,046
四半期包括利益	12,782	11,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,932	11,323
非支配株主に係る四半期包括利益	△150	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,767	17,769
減価償却費	6,289	6,563
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	397	453
受取利息及び受取配当金	△575	△1,122
支払利息	—	6
持分法による投資損益 (△は益)	△287	△617
投資有価証券売却損益 (△は益)	△627	△6
関係会社株式評価損	—	224
固定資産除売却損益 (△は益)	270	339
売上債権の増減額 (△は増加)	1,350	△1,344
棚卸資産の増減額 (△は増加)	16	△29
仕入債務の増減額 (△は減少)	△486	△1,977
その他	△405	725
小計	21,709	20,986
利息及び配当金の受取額	1,087	1,450
利息の支払額	—	△8
災害損失の支払額	△450	—
法人税等の支払額	△4,698	△5,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,647	16,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	10,287	△6,500
有価証券の取得による支出	△10,000	△10,000
有価証券の売却による収入	10,000	10,000
有価証券の償還による収入	900	—
固定資産の取得による支出	△6,672	△7,225
固定資産の売却による収入	322	56
固定資産の除却による支出	△498	△363
投資有価証券の取得による支出	△11	△314
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,689	309
関係会社株式の取得による支出	△117	—
その他	64	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,963	△14,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	10,000
配当金の支払額	△3,136	△5,274
自己株式の取得による支出	△0	△11,000
その他	△45	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,182	△6,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	75	237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,503	△3,271
現金及び現金同等物の期首残高	22,780	46,364
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,284	43,092

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間における、利益剰余金の残高は前連結会計年度末より61億99百万円減少し3,157億28百万円となっております。また、自己株式の残高は、前連結会計年度末より23億35百万円減少し226億99百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

①自己株式の取得

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式4,132千株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が109億99百万円増加しております。

②自己株式の消却

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2022年5月24日に自己株式6,770千株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が132億92百万円、自己株式が132億98百万円それぞれ減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等に関する会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間においては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	物流事業	その他事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	114,697	14,271	128,968	—	128,968
セグメント間の内部営業収益又は振替高	65	969	1,035	△1,035	—
計	114,762	15,241	130,004	△1,035	128,968
セグメント利益	12,302	2,037	14,339	2	14,342

(注) 1 セグメント利益の調整額2百万円は連結消去に係る決算調整額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	物流事業	その他事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	125,041	14,516	139,558	—	139,558
セグメント間の内部営業収益又は振替高	57	1,116	1,173	△1,173	—
計	125,099	15,632	140,731	△1,173	139,558
セグメント利益	14,456	1,775	16,232	10	16,242

(注) 1 セグメント利益の調整額10百万円は連結消去に係る決算調整額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。